



WEB2.0サービスを用いた ビジネスの検討

2008年2月19日

大分県情報サービス産業協会
技術研究会 Web2.0部会

[Web2.0部会メンバー]

- 北島 寛子 大分交通(株)
- 仲摩 亜希子 (株)オーイーシー
- 野邊 圭佑 大分大学大学院
- 小野 明香 新日鉄ソリューションズ(株)
- 川嶋 進司 鶴崎海陸運輸(株)
- 都甲 章己 KCS大分情報専門学校
- 池本 佳史 (株)富士通大分ソフトウェアラボラトリ
- 永田 昇 大分シーイーシー(株)
- 竹林 郁雄 デジタルバンク(株)

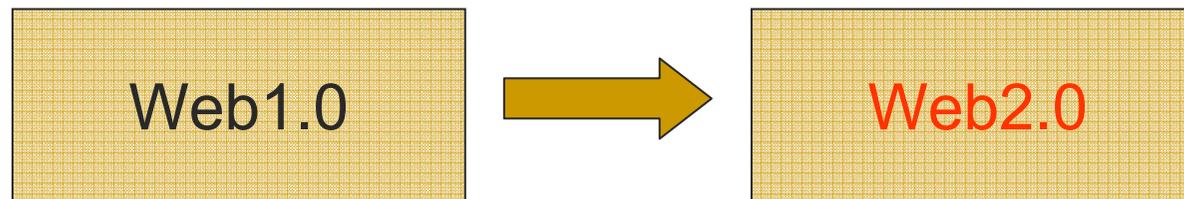


Web2.0とは

[Web2.0の定義]

ティム・オライリー氏らが定義

Webの使い方の変化



発信者→受信者という情報の流れ
(情報の発信者・受信者の固定)

[Web2.0の強み]

- プラットフォームとしてのWeb

例: Webブラウザ (Internet Explorer, Firefox など) があればいつでもどこでも誰でも使えるサービス

- 集合知の利用

例: amazon.co.jp のカスタマーレビュー

[Web2.0の強み]

- データは次世代のインテルインサイド
例: Wikipedia (記事には間違いもあるが、信頼性は相対的に高いとされる)
- ソフトウェアリリースサイクルの終焉
例: 永遠のβ版

[Web2.0の強み]

- 軽量なプログラミングモデル
例: APIを利用した新たなサービス、サイト
(ongmap.comなど多くのサイト)
- 単一デバイスの枠を超えたソフトウェア

[Web2.0の強み]

- リッチなユーザー体験

例: Googleマップ

- ・マウスで地図を動かしたりずらす
- ・ホイールを回して拡大・縮小
- ・以前は毎回ページを読み込みなおしていた



Web1.0との相違

[Web1.0時代]

- 情報の「送り手」と「受け手」が明確
 - Webページを作ることが一般的ではなかった
 - 登録されたサイトだけが検索対象となる仕組み

[Web2.0の登場によって]

- 情報の「送り手」と「受け手」の不定化
 - 誰もが情報発信者になれる環境の整備（ブログ）
 - 検索エンジン自らWebサイトの探索を行う（ロボット型検索エンジン）
 - 情報集積ツール（Wiki）
 - 個人ごとの連携の簡素化（ソーシャルネットワークワーキング）

A decorative graphic consisting of a thin gold circle. A thick horizontal bar is overlaid on the circle, with a dark olive green section on the left and a light beige section on the right. A large black left square bracket is on the left side of the bar, and a large gold right square bracket is on the right side.

实例

[実例 : Google]

- 検索エンジンをはじめとするWebサービスを提供
- 運営会社 : Google Inc. (日本法人 : グーグル株式会社)

[実例 : mixi]

- ソーシャルネットワーキングサービス
- 運営会社 : 株式会社ミクシィ
 - mixi以外にIT系求人広告事業も行っている
- 会員数 : 1240万人以上 (平成19年11月27日現在)

[実例: はてな]

- 人材検索サービスをはじめとする、ほかにはないサービスを提供
- 運営会社: 株式会社はてな
- 登録ユーザー数: 56万人?

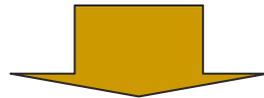


試作サイトの構築による検証

試作サイト

■ 目的

- どの程度の時間で、どの程度のものが可能？
- 考慮しなければならない点は、何か？



■ 地域情報共有サイトを作ってみる

- 局地的 (大分市内限定)
- ユーザー参加型 (登録、検索系)
- マスにない情報を共有する



デモンストレーション

試作サイトを構成する技術

知

Google Maps API

Apache
JAPANEZED APACHE SERVER PROJECT

php

SQLite

XMLHttpRequest

おすすめの理由:(*)
電車が良く見える公園です。男の子などは、
喜びます。

関連サイト:

写真: 参照...

南王子町2丁目8・6組

大分大財 養護院

Google

目録本線

15
13

G

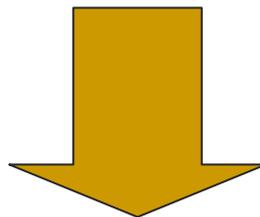
5

[感想：長所]

- 軽量なプログラミング
 - Google Maps API
 - Apache
 - PHP
 - SQLite
- 集合知の利用
 - ユーザー発の情報のデータベース化

[感想：注意点]

- セキュリティの確保
 - ユーザ管理(ID、Passwordで認証)
 - サイトあらしの対策
 - 脆弱性への対処 ...etc



運用・管理コストは避けられない

ビジネスの観点： Web2.0サイトの収益構造

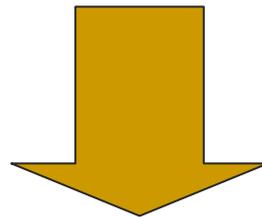
- | | | |
|----------|---|------------|
| ■ ユーザー課金 | | ■ ユーザー課金 × |
| ■ 手数料 | ➔ | ■ 手数料 × |
| ■ 広告料収入 | | ■ 広告料収入 ○ |

ビジネスの観点： 収益に必要な要素

- ユーザー参加型によるサービス強化
- 他コミュニティとの連携
- アフィリエイトプログラムの導入
- コミュニティ形成によるメリットの明確化

結論

- 多くのユーザーを集める
- ユーザーが口コミ情報を入力したくなるような魅力的なサイトにする



ユーザー数 = 収益につながる



まとめ

Web2.0を大分で展開するには

- 「大分県限定」という地域限定ではなく、「大分発全国」へ
 - 市場規模の小さいところへの展開には限界が早く訪れる(既存サービスに勝てない?)
 - ユーザの取り込みを全国レベルへ広げることで、市場規模が大きくなる

ご清聴ありがとうございました

参考資料

- 「ウェブ進化論—本当の大変化はこれから始まる」(ちくま新書)
- 「Web2.0でビジネスが変わる」(ソフトバンク新書)
- 「Google Maps API徹底活用ガイド」(毎日コミュニケーションズ)
- 「Googleマップ+Ajaxで自分の地図をつくる本 Google Maps API徹底活用」(ソフトバンク)
- <http://japan.cnet.com/column/web20/story/0,2000055933,20090039,00.htm>
- <http://www.cmptech.jp/web2expo/>
- <http://japan.cnet.com/panel/story/0,3800077799,20361277,00.htm>
- <http://japan.cnet.com/news/media/story/0,2000056023,20361105,00.htm>
- <http://japan.cnet.com/mobile/story/0,3800078151,20361139,00.htm>
- <http://jp.sun.com/web2.0/>
- http://www.ossaj.org/seminar/060223/ossaj_20060223_1.pdf
- http://it.nikkei.co.jp/internet/column/aun_seo.aspx?n=MMIT0j000022082006
- <http://blog.goo.ne.jp/ikedanobuo/e/ded664f8e7ea524399cce3092166204e>